

第 41 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会（部会②）

開催記録

1 開催概要

- 日 時：令和 6 年 3 月 6 日（水）10：00 ～ 12：00
- 場 所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川 ホール 5A
- 出席者：

表 出席者一覧

委員長	・ 谷川 章雄氏（早稲田大学 人間科学学術院 教授）
委員	・ 老川 慶喜氏（立教大学名誉教授） ・ 小野田 滋氏（鉄道総合技術研究所 アドバイザー） ・ 古関 潤一氏（東京大学名誉教授・ライト工業株式会社 R&D センター テクニカルオフィサー）
オブザーバー	・ 文化庁文化財第二課 史跡部門 ・ 港区 街づくり支援部 ・ 港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課 ・ 鉄道博物館 学芸部 ・ 東京都 教育庁 地域教育支援部 管理課 ・ 東京都 建設局 道路建設部 鉄道関連事業課 ・ 東京都 交通局 建設工務部 計画改良課 ・ 独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 都心業務部 ・ 独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 基盤整備計画部 ・ JR 東日本コンサルタンツ株式会社 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター ・ 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模開発部門 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 まちづくり部門ユニット ・ 東日本旅客鉄道株式会社 建設工事部 ・ 京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 建設部 ・ 京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部 品川開発推進部
事務局	・ 京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 建設部
サポート	・ パシフィックコンサルタンツ株式会社

■ 当日配布資料

部会②

- ・ 次第
- ・ 資料 1：調査の進捗について

2 議事要旨

2.1 部会②

(1) 開会

- 第 41 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会の部会②を開会する。(事務局)

(2) 調査の進捗について

- 資料 1 について説明する。(港区)
＜京急連立 2 工区の調査の進捗について以下の点を資料説明＞
 - 現品川駅東西自由通路付近で行っているボーリング調査の進捗を報告
 - 所見として、バラスト層の下が埋立土層となり、その下に泥土層が堆積し、その下を基盤となる自然堆積層の硬質粘土層と判断する
 - 埋立土は一気に埋め立てられた
 - 遺物は確認されなかったため埋立土の年代想定はできなかった
 - 自然堆積層の検出面は T.P.-1.6m で、掘り込む遺構もないと考える
 - 今後周辺のボーリング調査を行う予定で、まとめて報告したい
- 自然堆積層の上に泥土層が堆積し、その上に埋立土層がある。これまで確認されているものと同じと考えてよいだろう。(委員長)
- この結果を受けて K-P62 の杭の施工を可とする。(委員長)
→ 異議なし。(委員一同)

(3) 閉会

3 議事録

3.1 部会②

(1) 開会

(委員長) 次第に沿って進める。

(2) 調査の進捗について

(港区) 資料 1 について説明する。連立 2 工区のボーリング調査の進捗報告になる。調査位置は現品川駅の東西自由通路辺りになる。調査成果について、T.P.-4.0m というかなり深いところまで掘削できている。所見だが、0m (削孔面)～A までの間はバラスト等が入っている砕石層で、その下の A～B の間は埋立土層と考えている。その下の B～C の間は泥土層が溜まっていて、その下の C 以下は基盤層と判断した。泥土層は下の方に行くと暗色となるので、B と B' に分けて整理した。C 以下については硬質粘土層と考えているが、細かく見ると含有物や色調でさらに分層される可能性がある。C が基盤面であることは間違いないと考えている。埋立土自体に明らかな差はないので、概ね一気に埋立てられたと考えている。コアサンプル中に遺物は確認されなかったもので、埋立土の年代想定はできなかった。自然堆積層の検出面が T.P.-1.6m くらいで、自然堆積層を彫り込む遺構があればそれよりも下がると考えているので、遺構もないと考えている。柱状図は、今後試掘も兼ねた周辺のボーリング調査を行う予定なので、それらとまとめて報告したい。

(委員長) 質問、意見はあるか。

(委員長) 自然堆積層の上に泥土層が堆積し、その上に埋立土層があるという形である。これまで確認されているものと同じと考えてよいだろう。

(委員長) このボーリング結果を受けて、KP62 の杭の施工を可とする。

(委員一同) 異議なし。

(委員長) 他に何かなければ、次に進める。

(3) 閉会

以上